

第 77 回 数理社会学会 ワンステップアップセミナー

1. 題目：(不) 自然実験を利用した因果推論
2. 講師：鎌田拓馬
3. 日時：2024 年 8 月 29 日 (木) 15:00～17:00
4. 会場：文科系総合講義棟 (C19) ・第 2 講義室
5. 内容：近年、社会科学で因果推論を用いた実証研究が盛んである。しかし、隣接分野である経済学や政治科学と比べると、社会学では (不) 自然実験を利用した実証研究は主流ではない。本セミナーでは、(不) 自然実験を用いた研究デザインの考え方と応用を解説する。
6. 目標：
 - ・ (不) 自然実験を用いた研究の醍醐味を知る
 - ・ 社会的リサーチクエスチョンに対する (不) 自然実験的アプローチの応用方法を習得する
 - ・ 効果的な研究デザインの構築ポイントを学ぶ：統計モデルから研究デザインへ
7. 扱う項目：
 - ・ (不) 自然実験を利用した研究で求められる要素：制度的背景の理解、研究デザインの妥当性評価とプラセボテストの活用
 - ・ 差分の差分法、操作変数法、回帰不連続デザイン (いずれかを重点的に解説) と識別仮定
 - ・ 各研究デザインの応用例
8. テキスト：

Cunningham, Scott. 2021. *Causal Inference: The Mixtape*. Yale University Press.

<https://mixtape.scunning.com>
9. 参加費：無料
10. 定員：60 名 (先着順)
11. 参加資格：会員・非会員を問わず、どなたでも参加できます。
12. 留意事項 (事前のソフトのインストールなど)：
 - ・ 潜在結果変数モデルの基本概念を理解していると、セミナー内容をよりスムーズに理解できると思います。
 - ・ セミナーでは、2～3 例を取り上げ、参加者の皆さんが実際に検討している仮説を (不) 自然実験的研究デザインの枠組みで検討するエクササイズを行いたいと考えています。また、すでに研究デザインがある場合は、その妥当性についても議論したいと思います。関心のある方は、学会の 1 週間前までに研究概要 (仮説・データ・検討中の手法・研究デザイン (ある場合)) を簡潔にまとめ、kamada@osipp.osaka-u.ac.jp までお送りください。応募待っています！